

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 2019年度 オープンキャンパス日程

2019年度のオープンキャンパス(大学公開)は、下記日程での開催を予定しています。
全日程において予約は不要となっておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。
ご参加いただいた方にはもちろんTWCPEキャンパスグッズを差し上げます!

<p>第1回</p> <p>6月16日(日)</p> <p>10:00~15:00</p>	<p>第2回</p> <p>7月21日(日)</p> <p>10:00~15:00</p> <p>★</p>	<p>第3回</p> <p>8月4日(日)</p> <p>10:00~15:00</p> <p>★</p>
<p>第4回</p> <p>10月13日(日)</p> <p>10:00~15:00</p>	<p>第5回</p> <p>12月1日(日)</p> <p>10:00~15:00</p>	<p>第6回</p> <p>3月15日(日)</p> <p>10:00~15:00</p>

- 【全日程共通内容】**
- * 大学、短大紹介DVD上映
 - * 大学、短大概要等説明
 - * クラブ学生のパフォーマンス
 - * キャンパスツアー
 - * 寮見学
 - * スマイルカフェ(学生との交流)
 - * クラブ見学
 - * 個別相談
(入試、授業、資格、就職、学生生活、クラブ、寮等)
 - * 体験授業
 - * クラブ体験
- 【特別内容】7/21(日)と8/4(日)のみ★**
- * 特別講演
 - * 体験学食



1. 在学生がお待ちしています! キャンパスツアーでキャンパス内を案内したり、スマイルカフェで交流したり、いろいろな場面で大学生活について話が聞けます。
2. 在学生となんでも気軽に話せるスマイルカフェ。
3. 体験授業では、実際の大学の授業の雰囲気が味わえます。
4. クラブ見学も人気です。



JR南武線▶西国立駅下車徒歩約8分
JR南武線▶矢川駅下車徒歩約8分



アクセス情報は
こちらから

東京女子体育大学・
東京女子体育短期大学
マスコットキャラクター
「とよびー」



ラブスポ! vol.11

スポーツを愛し、スポーツとともに生きる人のためのフリーペーパー 東京女子体育大学
東京女子体育短期大学



私たちは
スポーツ女子を
応援します!

インタビュー

東京女子体育大学 ソフトテニス部監督

武田博子

人気ゼミの秘密を探る!

対談 スポーツ社会学

身体性哲学

対談 笹生心太 | 武藤伸司

ラブスポ! 11号

2019年4月1日発行

発行所/学校法人 藤村学園

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学 広報部

〒186-8668

東京都国立市富士見台4丁目30番1号

TEL 042-572-4131(代表)

<https://www.twcpe.ac.jp>

【表紙】

島津佳那さん

(大学 体育学部 体育学科1年)

Tokyo Women's College of Physical Education

TWCPE

ご自由にお持ちください



「スポーツ女子」 応援宣言

努力を惜しまない。チームワークを重んじる。チャレンジ精神が旺盛。
そんな「スポーツ女子」たちの姿が、今、社会で求められる人材として、
女子たちの理想像として、注目されています。
東女体大は、これまでも、これからも、「スポーツ女子」を応援し続けます！



（ 社会が求める「スポーツ女子」を 育む女子体育大学の魅力とは？ ）

とにかく元気で明るい！

女子体育大学の学生はアクティブで前向き。活気あふれるキャンパスでのびのびと学び合っており、社会に出てからもムードメーカーになる素質があります。

継続する力が 身に付く

自分自身の成長のためには、多少のことではへこたれない強い精神力と続ける努力が必要。女子体育大学にはそれらを育む環境があります。

女性一人一人が得意なことでも力を発揮できる場がたくさんある女子体育大学。その経験を重ねることで、確かなリーダーシップと指導力が身に付きます。

学習から 就職まで きめ細かな指導

教職員と学生との距離が近いので、学習面から生活面まできめ細かな指導が受けられます。また、充実した就活サポートにより、多くの学生がしっかりと社会に羽ばたいていきます。

高い
コミュニケーション
能力が育まれる

スポーツは言葉を超えたコミュニケーションそのもの。実技を通して仲間とともに達成感を味わい、互いに教え合うことで人を思いやる優しさも養われます。

自分らしさが 輝き、 自立心が 育まれる

性別にとらわれず自分の個性が発揮できる女子体育大学。なんでも自分でやろうとする雰囲気があり、あらゆることに積極的に取り組むことで、凛とした自立心が育まれます。

何事にも全力で
取り組むことを学べる
普段の授業であらゆる種類の習得が求められる女子体育大学では、苦手種目を克服するために全力で取り組むことを学びます。その経験は社会に出てからも活かされるでしょう。

東女体大の ブランドイメージは？

高校3年生への進路先に対するイメージ調査（2018年度）で、全国にある数多くの大学の中から、東女体大はいくつもの項目で上位に選ばれました！

※いずれも女子高校生を調査対象とした場合の順位
出典：リクルート カレッジマネジメント 212「進学ブランド力調査 2018」

	活気がある感じがする	クラブ・サークル活動が盛んである	明るい	力強い
1位	青山学院大学	早稲田大学	青山学院大学	日本体育大学
2位	早稲田大学	青山学院大学	早稲田大学	早稲田大学
3位	立教大学	日本大学	明治大学	東京女子体育大学
4位	明治大学	慶應義塾大学	東京女子体育大学	東京大学
5位	日本大学	東京女子体育大学	慶應義塾大学	法政大学
6位	法政大学	日本体育大学	明治学院大学	青山学院大学
7位	東京大学	桜美林大学	法政大学	慶應義塾大学
8位	慶應義塾大学	東洋大学	東京家政大学	日本女子体育大学
9位	日本体育大学	駒澤大学	中央大学	国士館大学
10位	東京女子体育大学	東京大学	日本体育大学	大阪大学

数々の日本一記録を
打ち立てた

..... interview

東女体大ソフトテニス部
武田博子監督
に聞く

ソフトテニスの世界で優勝請負人と
呼ばれる常勝監督、武田博子氏。
東女体大の指導者としての
これからと今についてお話を伺いました。



「教え子の教え子が トップクラスで活躍しています」

指導者として輝かしい実績

非常勤講師やソフトテニス部の監督として、長年東京女子体育大学・東京女子体育短期大学で指導にあたってきた武田博子氏。自身も東京女子体育大学の卒業生です。卒業後は故郷の広島県に戻り、熊野筆で有名な熊野町立熊野中学校で教諭となりました。「今は化粧用の筆で有名になりましたけれど、その頃は習字用の筆が売れなくて大変な時期。教育長さんから『ラケットで子供たちに夢を与えてくれないか』と言

われて、スポーツ少年団や中学校の部活でソフトテニスの指導をすることになりました」中学校教諭時代は練習の鬼と呼ばれていた武田氏。「テニスコートに机をおいて、勉強もさせながら毎日練習を。広島県の中学校総合体育大会で10年間1位だったので、それを守りたいと。若さだったんでしょね」

中学校教諭を13年勤めた後、母校の清水ヶ丘高校に教諭・ソフトテニス部監督として迎えられました。「北海道インターハイ、沖縄国体、全国高等学校選抜大会優勝と、三冠王の監督になり

ました。今でも、女性としてはただ一人だと思います」

その後は、中国の大学やナショナルチームを指導し、日本の実業団の監督も務めました。圧倒的に強い監督でしたが女性というだけで、理不尽な思いをしたことも。「勝ちすぎたからかもしれないですね。私も媚びないし。そんな時、東女体大の恩師の宮本先生に、『ソフトテニスという競技においては、女性が女性を教えるほうがいい。私の後を継いで日本一のテニスを作ってほしい』と誘われて、母校に戻ったんです」

一番の原動力は教え子たち

東女体大の非常勤講師・ソフトテニス部監督になってからは、インカレ7連覇という、前人未到の記録を打ち立てます。「学生は毎年変わります。私はみんなのデータを取って、練習内容を全て変えていきます。一度日本一になったからといって、同じ練習を続けることはない。前の年に優勝しても、それはもう過去ですから」

成功体験にあぐらをかくのではなく、常に学生を見て指導法を考えるという武田氏。練習内容も実践的です。「この練習は試合のどの部分の練習なのか。例えば全国大会の決勝のこの部分の練習だということを、必ず伝えて納得さ

せます。テニスコートをいくつかのブロックに分けて番号を付け、作戦を指示するので、それを意識することも大切。あとは心の準備、練習の準備と、目標、目的を持つこと」

インカレ7連覇達成後、実業団の監督などを経て、2014年、再び東女体大へ戻ってきた武田氏。2017年、2018年とインカレ2連覇を果たしました。

「今の自分の一番の原動力になっているのが教え子たちです。教員志望の学生が多いので、教育の中でのソフトテニスのあり方を指導してきました。教え子が、自分の教え子を東女体大に送ってくれるようになったのが何よりも嬉しいです」。皇后杯、アジア競技大会で優勝した東女体大の林田リコ選手を文化学園大学杉並高校で教えた武元望美先生は、武田氏の東女体大時代の教え子で、林田選手はいわば孫弟子のようなもの。

「優勝請負人とか言われていますけれど、学生たちからすると普通のおばちゃん、日本一の監督とは信じられないみたい。練習を重ねていくと、知らず知らずのうちに負けなくなるので、そこで実感するのでしょうか。それと、もうちょっと頑張ってみよう、辛抱しようと思わせるのは、指導者の指導力のエネルギーと人間性。いつまでも自分に磨きをかける指導者であることが、一番大事なことじゃないかなと思います」



2017年全日本インカレ団体優勝(上)、2018年アジア大会予選(中)、2018年全日本インカレ団体優勝(下)

武田博子 (たけだ・ひろこ)

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
ソフトテニス部監督

1947年広島県呉市生まれ。1971年東京女子体育大学卒業後、広島県安芸郡熊野町立熊野中学校教諭・ソフトテニス部監督就任後、清水ヶ丘学園清水ヶ丘高等学校教諭・ソフトテニス部監督として、「インターハイ優勝」「国体優勝」「全日本高等学校選抜大会優勝」と女性として日本初の三冠王監督に。中国、インドネシアソフトテニスナショナルチームコーチ、広島総合銀行ソフトテニス部女子監督を経て、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の非常勤講師・ソフトテニス部監督に就任し、インカレ7連覇を達成。現在、3連覇を目指している。



大学で何を学んでほしいか

笹生 ●よく言われるのは、高校までは決まったカリキュラムの中の授業を受けるだけですが、大学は自分から決めていくということ。そのためには自分の関心がきちんと固まっているといいですね。あと例えば『1964年に東京オリンピックがあった』という知識だけではなく、そこから考え方や物の見方を広げていく必要がある。そのためにも、脳みそを取り出して脳みその形自体を変えるような、そんな授業をしたいと思っています。

武藤 ●知識だけではないというのはおっしゃる通りで、昔と違ってインターネットなどでいろいろな資料がすぐに取り出せる時代です。ですから知識自体を暗記する必要はない気がしますね。だとすれば重要なのは使い方です。建築素材でいえば、木やブロック、ガラスなど必要な材料をどれだけ集めるかも大事なのですが、材料はすぐに手に入るの、どう組み立てるのか、設計図をどう描くのかというのが、今の大学生に求められている能力だと思います。

どういう心構えが必要か

武藤 ●先入観や偏見を持たず、どんなことにも興味を持つ。すべて自分の糧になるという態度でいることが一番大事ですね。この授業は面白くないとか、あの先生は苦手だとかではなく、何か得るものがあると思って、何にでも関わっていくことでしょうか。特にゼミは個人と個人が向き合う場なので、好き嫌いだけの一面的な見方をせずに、うまく関わってほしいですね。

笹生 ●そうですね、オープンマインドはとても大切だと思います。どんなことにも意味はありますし、意味がないと思ったときは、『なぜ私にとって意味がないのか』をきちんと確かめる。『なぜ』という姿勢を持つことが大事ですね。嫌いと言って切り捨てるのではなく、切り捨てないトレーニングが、もしかしたら大学生活で一番大切なことかもしれません。

武藤 ●東女体大でゼミは必修。できれ

大学の学びって
高校までと何が違うの？
どんな心構えで
勉強すればいいの？

否定ではなく
批判を通して
学生同士が高め合う

暗記をするよりも
集めた知識の
組み立て方を知る

人気ゼミの先生に、大学の学びについて、
東女体大生について語っていただきました。

ば卒業論文にも取り組んでほしいです。大学に入学した以上、書かずに卒業するのはもったいない。思考力を鍛えるためには、自分の思いや考えをアウトプットして、それを形にして外から見たい。そこで再帰的に自分の考え方を鍛え直すことができるはずですよ。

笹生 ●再帰的、というのがキーワードですね。これはつまり、フィードバックを受けて常に自分を変えていく、ということです。それに課題を見つけて、それに関する情報を集め、他の人がどういう解決策を用意しているかを調べた上で、自分なりの答えを出すという作業は、仕事をしていく上でも役立つと思います。

武藤 ●大学に入ったら、最低限、目標と興味は持っておいてほしいですね。能力は徐々に身に付けられればいいので、気持ちは作っておいてほしい。

笹生 ●その通りです。例えば教員になりたいという目標があったら、やはり勉強を頑張るじゃないですか。何をしたいかということとはとても大事にしてほしいですね。東女体大はスポーツをしている学生が多いので、目標を立ててそれに向かっていくという経験はみんなあるはず。

武藤 ●そうですね。卒論でもそれは同じ。その経験を生かさないのはもったいない。

東女体大生のいいところは

武藤 ●総合大学の学生は、こう言うのはなんですが、無気力な学生が多い気がします。これがしたいからこの学部に入ったという人ばかりではないように見えるので。東女体大は、スポーツという目標を持った学生が多いので、やる気があり、とても教えやすいですね。

笹生 ●私も同感です。東女体大は無気力な学生が少ない。精神的にタフで、へこたれない。私のゼミでは他大学のゼミと合同発表会をしているのですが、他大の学生は交流会の時も自分たちだけで固まってしまう。うちの学生はコミュニケーション能力が素晴らしく、すぐ他大の学生とも仲良くなる。あと、気のいい学生が多いと思います。できない理由を探さない。すごいですよね。

スポーツ社会学

笹生心太 先生

(ささお・しんた)

1981年、埼玉県生まれ。専門分野はスポーツ社会学、社会学。主要担当科目はスポーツ社会学、レジャー・レクリエーション概論、社会と人間。仙台大学講師を経て、東京女子体育大学講師。著書に『ボウリングの社会学(スポーツ)と(レジャー)の狭間で』(青弓社)などがある。

対 談

身体性哲学

武藤伸司 先生

(むとう・しんじ)

1983年、福島県生まれ。専門は哲学、身体性哲学、現象学。主要科目は身体学、思想と人間観。東洋大学国際哲学研究センター研究助手を経て、東京女子体育大学講師。著書に『力動性としての時間意識』(知泉書館)などがある。



笹生ゼミを紹介します



どんなゼミ？

社会に起こるさまざまな現象を、それを当たり前だと思わずに、なぜそのようなことが起こるのか、それが何か問題を引き起こしていないかといった観点から考え直す学問が社会学。スポーツを社会学という見方とらえるこのゼミの最終目標は大学生活の総決算として「良い卒論」を執筆することです。

ゼミの意義って？

インタラクティブな学びができること。一方通行の授業ではなく、お互いに批判し、批判を受けて改善するというトレーニングができることが、普通の講義と圧倒的に違うところ。個人に対する批判ではなく、自分から外に出したのに対して批判を受け、成長できるのありがたいことです。

卒業生の進路は？

保育士や教員、一般企業ではオリエンタルランドに入った学生がいます。スポーツジムやヨガ教室に就職する学生も多い気がします。レッスンをするときに、ゼミで人前で喋った経験が生きているということは、卒業生に言われます。

●研究テーマの例

- 「スポーツ観戦時の着眼点の差異に関する研究」
- 「パラエティ番組におけるジェンダー表現」
- 「スポーツシューズにおける消費者行動」
- 「オルタナティブスポーツの考案」
- 「なぜ女性は結婚したがるのか」
- 「東京女子体育大学生におけるスポーツへの社会化」など

ゼミ生に聞きました！

ゼミを選んだ理由

学生生活の最後にきちんとした卒論を書きたいと考えたから、あえて自分を厳しい環境に置き、勉強・部活両方とも100%で取り組みたいと思ったから。(4年生 佐藤由紀子さん)

印象に残ったアドバイス

「伝えたいことを絞る。全てのことを伝えることはできないから、自分が特に言いたいこと、その根拠を明確にする」「話の起承転結を考えて文章を作る(当たり前だけどとても重要)」 「自己満足で終わるものは卒論ではない」(4年生 伊藤佳那さん)

ゼミのここがオススメ

自分の疑問に思っていることをとことん調べることができ、それを多数の人に伝えることができる。時間も体力もすごく使って大変ですが、やりがいはある！(4年生 高山舞子さん)

ゼミのここがオススメ

文書の作成能力、ディベートでの発言能力がつかます。読解力や社会的知識など、今後社会に出る上で必要となる知識や能力も身に付きます。エントリーシートの添削やアドバイスも細やかに行ってくださいました。(3年生 久保里沙さん)

印象に残ったアドバイス

しっかり取り組んで努力していることは評価されるべきと言ってもらったことが印象に残っています。大変で投げ出したかったときも、先生なら正當に評価してくれると思っていたので頑張ることができました。(4年生 佐川湖春さん)

ゼミを選んだ理由

「社会学」を知らなかったのですが、「日頃、当たり前のようにしている行動、現象をより深く考える」ことと知り、とても面白い学問だと興味を持ちました。(3年生 窪ひなたさん)



武藤ゼミを紹介します



どんなゼミ？

「身体とは何か」「身体とは如何にして身体と成るか」という身体の本質を問い、学ぶことが目的。自分の身体や動きの感覚と対話の中で、それがどう生じたか、その運動の核とは何かを探り、身体性の本質を見極めていきます。ただ、本当にしたいことであれば、テーマを自由に決めることもできます。

ゼミの意義って？

先生とじっくり話せる場であること。問題を深く掘り下げていくためには、広く浅くではダメ。そのため時間を取り、集中して複雑な問題に取り組んでいく。本当に興味を持ったテーマをしっかり持っている学生には、教員も当然しっかり付き合いますから、学ぶことが楽しくなると思います。

卒業生の進路は？

武道系の学生だと警察官を目指す人もいますし、教員になる人も。スポーツジム、ヨガ教室、一般企業が多いですね。サッカーや武道系の部活生で、実業団に進む学生もいます。このゼミだからこの進路、という傾向はあまりないかもしれません。傾向がないというのが傾向かもしれません。

●研究テーマの例

- 「イメージトレーニングの必要性和4スタンス理論」
- 「ソフトテニスにおけるプレー中の心について」
- 「ゴールデンエイジについて」
- 「バスケットボールとサッカーの関係性」
- 「学童期における運動の実践」
- 「フェンシングにおけるパフォーマンスと競技不安の関係性について」
- 「コミュニケーション論」など

ゼミ生に聞きました！

ゼミを選んだ理由

自分自身が行っている種目で、さらに身体との関係性を導きながら研究できるから。自分からどんどん調べる意欲がある人には、先生も一生懸命一緒に考えてくれるので、自ら取り組みたいにはとてもいいゼミだと思います。(4年生 杉原運波さん)

印象に残ったアドバイス

テーマについて迷っている時に、自分のやりたい研究をやるべきだとアドバイスをくださったこと。どんな方法で研究をしたらよいか、アイデアをたくさん出してくださいました。(3年生 萩本みなみさん)

ゼミのここがオススメ

自分が明らかにしたいものがあるのなら、このゼミはオススメです。自分の好きなことを好きなだけ研究できます。(3年生 沖伽葉子さん)

ゼミのここがオススメ

卒論の書き方、進め方を丁寧に教えてもらえるゼミなので、早めに卒論に取り組みたい人、自分の興味のある研究をしっかりしたい人にオススメです。過去の先輩の資料や参考になりそうな論文もたくさん教えていただけます。(3年生 朝水愛華さん)

ゼミのここがオススメ

自分の研究したいことをとりあえず文章にしたら、そこからたくさんのアドバイスをしてくださるので、どんどん調べたいことが出てきて楽しいです。(3年生 大塚紗弥さん)

ゼミを選んだ理由

自分が本当に学びたい、研究したいテーマは、このゼミでしか研究できないと考えたからです。(4年生 合摩歩美さん)

社会に必要とされ、 挑戦し続けられる、 自分づくりを

株式会社サンクラッド
代表取締役

馬場加奈子さん



手探りで始めた 日本初の制服リユース

馬場さんが3人の子どもの育てながら日本初の学生服リユースショップを開いたのは、今から9年前、39歳の時のことです。

学生服のリユースという発想は自身の経験から。「小学生でも制服は高額な上、体操服やランドセルも揃えるとなると、かなりの出費です。私はその出費をなんとか抑えたいと思って制服を扱うリサイクル店を探したのですが、見つからなかったのです」。同じように困っているお母さんたちがたくさんいると確信した馬場さんは、学生服のリユースショップをオープンしようと考えました。

いざ起業はしてみたものの、まったく初めての経験、何のノウハウもありません。しかも、参考になる同種の店は日本中どこにもなく、一から手探りでスタートとなりました。まずは100人ほどの母親を対象にしたリサーチから着手。店の宣伝のために1日10回ブログをアップし続け、寒い中、3人の子どもの連れて近隣の家々数百件にチラシのポスティングも。体力的にもきつかったそうですが、子どもたちが率先して手伝ってくれる姿を見て「私はこの子たちを育てなくてはいけない!」という思いで頑張った、と当時を振り返ります。

この仕事は、 お母さんたちにぴったり!

制服リユースの仕事がうまく回るようになると、馬場さんは別の視点から仕事を捉え直します。それが“お母さんたちの起業応援”です。自分の店で仕

事をしていると、小さい子どもを連れて行っても仕事ができる、子どもの体調不良で店を休んでもお客さんは理解してくれる、などさまざまな気づきがあり、「これは子どもを持つ女性にぴったりの仕事だ」と確信。「さくらやパートナー」として店舗展開する女性を募りました。開店して4年目に全国ネットのテレビ番組で取り上げられると一気に知名度が上がり、パートナーへの応募も急増、今では全国に44店舗を展開するまでにになりました。

「さくらやは、地域のお母さんたちと作り上げてきたという思いが強いです」と話す馬場さん。学生服や体操服の洗濯を地域の障がい者就労支援施設の仕事に、体操服に縫い付けられた刺繍を取る仕事は地域の高齢者や子育て中のお母さんの仕事に、という具合に、地域の仕事の創出にも貢献しています。最近では、学生服の売上の現場で見えてきた子どもの貧困問題にも関心を持ち、行政の協力も得て、制服を通じた企業と福祉をつなぐ内閣府子供の未来応援国民運動をスタートさせました。

辛くても、得るものが 多かった東女体大時代

シングルマザーとして3人の子どもの育てながらの起業、その苦労は並大抵ではなかったはず。それでも「少しぐらいのことでは全然くじけませんでした。大学時代に鍛えられましたから」と笑う馬場さんに、東女体大時代の思い出を聞いてみました。

中学校から円盤投げと砲丸投げを始め、高校時代には国体で優勝したトップアスリートとして高松から上京して東

京女子体育大学に入学、競技生活を続けることになりました。寮と大学を往復し部活に明け暮れる日々。1年生の時は地元から離れ、新しい環境にとまどいもあり「毎日、公衆電話で母に電話して『帰りたい』と泣いていました」というほど辛かったと言います。

「今の私の行動力や発案力は東女体大時代に練習や寮生活を通して身に付きました。厳しいと思う練習では『できない』と思うより『まずはやってみよう』と取り組むこと、チャレンジする精神が大事」

当時、4年間の寮生活では学生が当番制で食事も担当していて、それぞれの出身地方の郷土料理がテーブルに並ぶこともあったとか。現在、馬場さんが仕事をする上で視野を広く持つことができるようになったのも、こうした全国各地の仲間との出会いがあったから。これもかけがえのない財産です。苦業を共にした大学時代の仲間とは今でももちろんつながっていて、励まし合ったり、応援したり、お互いの力になっているといます。そんな校風が気に入った馬場さん、自身の次女にも東女体大進学を勧め、昨年からのキャンパスで大学生活を送っているそうです。

「大学生活で自分の強みを作り生かすことで、社会や人から必要とされる人になります。たくさんの失敗から多くのことを学び、仲間たちとの信頼関係を築き上げてください。それが今では私の財産になっています。これからはスピードと多様性が求められる社会へと変化するでしょう。大学生活を楽しみながら皆さんのアイデアを大学と共創していけば、未来の大学の『カタチ』になりイノベーションの創出が起こるはず。充実した大学生活を送ってください」

馬場加奈子 (ばば・かなこ)

1971年香川県生まれ。1994年、東京女子体育大学卒業。2010年自宅を拠点に起業。2011年さくらや店舗開業。2013年株式会社サンクラッド設立。日本商工会議所「女性起業家大賞2014」スタートアップ部門優秀賞、日経ウーマンオブザイヤー2016子育て家庭応援ビジネス賞、循環型社会形成推進功労者2017環境大臣賞ほか受賞歴多数。

学生服リユース Shop さくらや

家計を抑えたいお母さんたちのために、愛着のある学生服をバトンタッチする幸せのサイクルをお手伝い。現在、全国44のさくらやパートナーが店舗展開しています。 <http://www.seifuku-sakuraya.com/>



土浦日本大学高等学校
女子バレーボール部コーチ
今村直美さん



なりたい自分になるために
さまざまな場での
出会いを成長の糧に

初の日本人選手として
Vリーグからルーマニアへ

小学校3年生からバレーボール一筋に打ち込んできた今村直美さん。東女体大卒業後もVリーグのチームで活躍しましたが、所属チームが廃部になり、ルーマニアの一部リーグ『ディナモ・ブカレスト (Dinamo Bucuresti)』に移籍することになりました。「移籍するなら海外と決めていたので、ルーマニアから最初にオファーがきた時に迷わず受けたんです」

日本人選手がルーマニアリーグに参加したのは今村さんが初めて。もちろん言葉もわかりません。普通ならためらうような環境でも躊躇せず飛び込んでいけたのは、「いつか指導者になったので、いい経験になると思ったからですね。あまり情報がないところのほうが面白いし、自分を高めることができるのでは」と考えたからでした。

到着した翌日には練習に参加。「初めて来た日本人。チームのみんなも私をどう扱っていいのかわからない、私もどうすればいいのかわからない。そんな状況の中、とりあえずパスを始めたら、言葉を発さなくても、みんな笑顔になったんです。決まったら喜ぶ、ミスしたら励ます、それは日本と同じです。スポーツって、バレーボールってやはり素敵だなと実感しました」

ディナモ・ブカレストには、オリンピックで銅メダルを獲得したセルビアチームのキャプテンを始め、東ヨーロッパ各



20年ぶりにルーマニアでリーグ優勝した「ディナモ・ブカレスト」のメンバーたちと

国から代表レベルの選手が集まっていたそうです。「みんな身長185cmくらいの人ばかり、私だけ162cmで見上げている感じでした(笑)」

ルーマニアでプレーしたのは1シーズンでしたが、リーグで20年ぶりに優勝するという結果を残します。「日本大使館の方が応援に来てくださったのも嬉しかったですね。皆さんでハチマキをして、他の国の選手がそれを見て羨ましがっていました。一丸となって応援してくれるのがいいよねって」

自分が変わらないと
周りも変わらない

初めは全くわからなかったルーマニア語も、毎回ミーティングで選手が英語に訳してくれるのを聞いているうちに、自然と聞き取れるようになったという今村さん。「わからない言葉は帰ってから調べたり、いつも辞書を持ち歩いたり。自分でも驚きましたが、2~3か月で聞き取れるようになったんです。ただ、話すのはなかなか。そうしたらある日、一番仲のいいチームメイトに『何を思っているのか言わなければ、いないのと一緒だよ』と言われて。そこから勇気を振り絞って、間違ってもいいから話そうと。思っているだけではダメで、自分で主張していかないと、周りは変わらないんですね」ミーティングでも思うことを遠慮せずに言い合えたことで、お互いの信頼関係もより強くなったそうです。「日本に帰る時にはみんな涙を流すくらいの関係になっていました。本当にいい経験で、とても温かい気持ちになって帰ってこられました」

指導者となった今、この時の苦労が生きています。「思っていることはあるけれど言えないという学生は、こういう気持ちなんだろうと察することができるようになりました。苦しいだろうと、実体験として切実に。それがわかるようになったのは大きいと思います」



今村さんのルーマニアでのポジションはリベロ。チームメイトは全員高身長だった

技術以外にも大切なことを
教わった大学時代

大学時代はバレーボール漬けの毎日でした。「高校時代は怪我で結果を残せなかったのですが、大学で頑張れば逆転できると今丸先生に励まされました。2002年に東日本インカレで優勝したのもいい思い出です。勝つため、優勝するために必死の毎日でしたが、「勝敗関係なく、周りから応援してもらえようにならな」と駄目だ」とも言われました。勝つことは大事だけれど、その過程も、人間性も全て大切なんだと。東女体大で学ばなければ今の私はないと断言できるぐらい、大学で教わったことがその後の人生で生きています」

ルーマニアから帰国後は筑波大学大学院でコーチングを学び、指導者としての道を歩み始めた今村さん。結婚、出産を経験し、続けるかどうか悩んだこともあったそうです。「そんな時、知人に言われたんです。人生は縮小と拡大だって。その時々自分に合わせて変えていけばいい。確かにそうだって。今できることをやればいいんだと思うようになりました」

それぞれのステージで、挑戦を続けてきた今村さん。「一度負けたからといってそこで人生が終わるわけじゃない。人生はそこから。大学でもどの大学に入るかということより、何を学ぶか、どんな人と出会うかということがすごく大きい。なりたい自分になるために、4年間を大切に過ごしてください」

今村直美 (いまむら・なおみ)

1982年茨城県生まれ。2005年、東京女子体育大学卒業後、Vリーグ「武富士パンパー」に入団。2010年、ルーマニア一部リーグ「Dinamo Bucuresti」に移籍し、ルーマニアでプレーする初の日本人選手となる。帰国後、筑波大学大学院に進学しコーチングを学ぶ。筑波大学女子バレー部のコーチなどを経て現職。

TWCPE topics

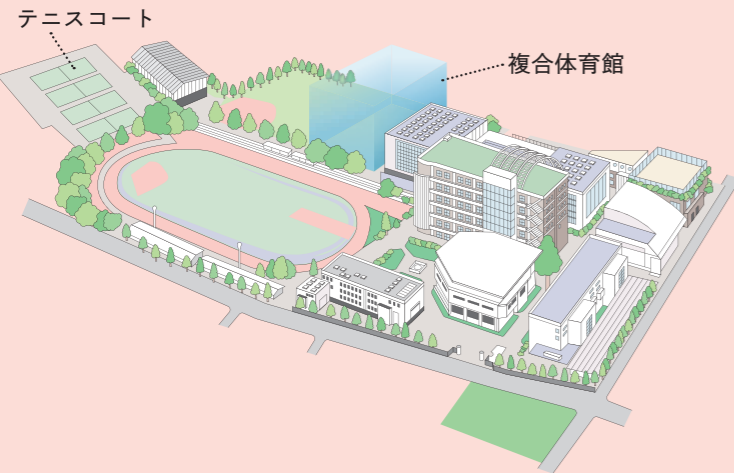
東女体大 最新トピックス

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の
さまざまな TOPICS をお届けします。
これからの東女体大にご期待ください！

topics_01

複合体育館 建設決定！

2022年の創立120周年の周年事業として、地下1階、地上5階の複合体育館の建設が決定しました！新体操競技が主に使用する15mの高さを備えた第1体育館、バレーボールやバスケットボールがメインの12.5mの高さを備えた第2体育館、クラブ活動とクラブ活動の基礎練習に使用できる多目的ルームとトレーニングルームが設置されます。着工は2019年9月、竣工は2021年8月末の予定です。



テニスコートが完成！

2019年3月に硬式・ソフトテニス共に公式試合が可能な規格を満たした新しいテニスコートが完成しました。高グレードの砂入り人工芝を使用した高品質なテニスコートには、コートごとにLED照明等も設置し、充実した練習環境が整いました。

topics_02



本学マスコットキャラクターが決定！

「東女体大をイメージしたもの」「東女体大が大好き！」「スポーツ万能でいろいろなユニフォームが似合う」「元気で明るく、子どもが大好き！」という4つのキーワードを設定し、学生や卒業生からキャラクターを募集。全104キャラクターの応募の中から最終的に3つに絞り、本学の学生が投票。その結果、『とよぴー』が選ばれました！広報誌やHP、着ぐるみや各種PRグッズの制作などに使用を予定しています。

「『とよぴー』です！ヨロシクね。」

topics_03

幼保コース、スタートしています！

2018年4月から短期大学児童教育学科に保育士養成課程を設置し、保育士資格を取得できるコースを新たに設けました。



保育・乳幼児教育に関する専門的知識や技能と、スポーツ・健康・運動・安全の知識を幅広く学び、乳幼児期の子どもの健康な心と体を育む保育者の役割について、実践的な理解を深めます。
取得できる資格… 幼稚園教諭二種免許状 保育士資格



さまざまな分野の知識を得て教養を高め、幼児・児童教育に関する専門的知識や技能を習得し、幼児期から児童期の教育について実践的な理解を深めます。
取得できる資格… 幼稚園教諭二種免許状 小学校教諭二種免許状

一般企業や官公庁に就職する学生もいます。大学3年次に編入学する道も。中学校教諭や高校教諭の道も広がります。

topics_04

教職ラーニングステーション設置！

教職ラーニングステーションとは、教員採用試験等を目指す学生が、ライフスタイルに応じて学習を進めていくための専用スペースです。対策講座はじめ、さまざまなプログラムも開設されます。確実に合格が目指せるよう、教員志望の学生をより一層、応援していきます。

教職ラーニングステーション
開設日：月～金曜日 9:00～20:00
※教職アドバイザー、支援員が常駐します。
[開設予定講座] 教職教養講座、論作文講座、一般教養講座、保健分野授業力養成講座、体育科授業力養成講座、教育公務員実務演習講座、二次試験対策 など

topics_05

活躍した選手たち 2018年度

- 第20回ユニバーシアード冬季競技大会
[アイスホッケー] 阪本真代さん(大学3年)
日本代表チーム 銅メダルを獲得
- 第18回アジア競技大会
[ソフトテニス] 林田リコさん(大学1年)
国別対抗戦で金メダル、ミックスダブルスで銅メダルを獲得
- [水球] 有馬優美さん(大学3年)
日本女子チーム代表として出場、銅メダルを獲得
※選手として卒業生青木美友さん(2015年度卒)、コーチとして泉尾麻貴子さん(1993年度卒)も参加
- [テコンドー(女子U-30ブムセ)] 梅原麻奈さん(大学3年) 5位入賞

topics_06

特別講座

～東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト～



詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

2019年度も東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の特別講座が開催されます。

本学のオリンピックによる直接指導！

5/25 新体操競技 6/29 ソフトボール 7/20 柔道

また、11月の学園祭「藤園祭」でパネルディスカッションを実施したり、海外の新体操競技の選手を招いてのイベントなども開催する予定です。